

那須烏山市国土強靱化地域計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果

No	区分	意見・提言等	市の考え方
1	<p>【p5】</p> <p>第2章 本計画の基本的な考え方</p> <p>3基本方針</p>	<p>「基本方針」は、この計画の中で最上位に位置し、今後の計画策定や実施、見直しの度に、必ず原点として読み返される部分です。極めて重要な部分であると考えられることから、細かな部分まで指摘させていただきます。</p> <p>(1) 基本姿勢2項目</p> <p>災害において弱者となりがちの方々として、県地域計画に同じく、外国人を明記すべきと考えます。</p> <p>(2) 効果的な施策の推進</p> <p>書き出しが「限りある予算の中で」とありますが、資源はお金だけではありません。書くのであれば、少なくとも人、モノを加えるべきです。</p> <p>また、文がぐどかったり（優先2回+重点化）、流行りだった言葉（選択と集中）が使われています。簡潔かつ明瞭な文への推敲をお願いします。</p>	<p>本計画では、災害時において、すべての市民等が円滑かつ迅速に避難ができるよう、災害弱者に対して十分に配慮することとしています。</p> <p>1点目の「外国人」については、現在、市内在住の外国人は、約300人で、その他、観光等で一時的に本市を訪れる外国人もいますので、有事の際に日本語の理解が困難な外国人に対する防災情報の周知方法等について、考慮する必要があると考えます。従いまして、ご指摘のとおり本文中に「外国人」も加えることとします。</p> <p>2点目の「効果的な施策の推進」については、ご指摘のとおり、限りある資源は予算以外にも「人、モノ」が想定されますので、それらを加えた表現に改めるとともに、文章全体についても簡潔になるよう一部修正することとします。</p>
2	<p>【p8～10】</p> <p>第3章 脆弱性評価</p> <p>5脆弱性の分析結果</p>	<p>今回の案からは、問題点や対応できていないこと等が読み取れず、結果、施策ありきの案なのかな、と感じてしまう部分があります。</p> <p>問題点やできていないことは、実効性があり変化に応じて見直しもできる計画を立てるためには良い情報ですし、関係する人が変わっても理解できます。その様な情報を記載することを望みます。</p> <p>分析結果のシナリオ1について、問題が不明確な部分を示します。</p> <p>(リスクシナリオ)</p> <p>1 直接死を最大限防ぐこと</p> <p>・防災意識は、学校では標語等で啓発しているでしょうし、市民にはお知らせ版や防災無線等による啓発があります。何が不足していますか？</p>	<p>本計画では、大規模自然災害への備えとして、本市において想定されるリスクシナリオごとに脆弱性の評価を行ったうえで、今後、強靱化を推進するために必要な施策を定めています。</p> <p>1点目の「火災への備えとしての防災意識の啓発」については、例えば、火災が発生した場合には、通報、初期消火、避難誘導といった初動対応が重要であり、多くの人命を守るためにも定期的に消防訓練を行う必要があります。また、各施設においては、消火器やスプリンクラーが正常に作動するかどうかの設備点検が必要であります。このように、日頃からの備えに対する啓発活動が重要であると考えています。</p>

No	区分	意見・提言等	市の考え方
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の空き家の倒壊は、それが多 い都市部であれば理解しますが、那 須烏山市でも事実として該当しま すか。それより、道路わきで大きく 育ってしまった樹木が折れたり倒 れたりすることの方が問題は大き くないですか？</li> <li>・消防団員は、なり手が減っているこ とは感じていますが、質が落ちて問 題が生じているのですか。</li> </ul>	<p>2点目の「空き家対策」については、近年、本市においても人口減少・高齢化等の影響により居住されていない空き家が増加傾向にあります。現在、市で把握している戸数としては、約700戸(平成26年空き家実態調査)であり、空き家の中でも特に管理されていない空き家については、周辺住民への安全や衛生、防犯、防火等に対する悪影響が危惧されることから、今後「空き家等対策計画」を策定し、計画に基づいた対策を講じる必要があると考えています。</p> <p>なお、道路わきの倒木対策については、通行人等の安全確保のためにも対策が必要であると考えています。計画の中では、特に明記はしていませんが、施策としては、道路の防災・減災対策の中で対応して参ります。</p> <p>3点目の「消防団の資質向上」について、消防団は、火災発生時の消火活動だけでなく自然災害発生時の避難誘導など様々な場面で活動を行っています。現在、特に問題が生じているわけではありませんが、今後も定期的に各種訓練や研修等をとおして、有事の際に役立つ知識や技能を習得するなど、資質の向上に努めることが重要であると考えています。</p>